

活動名：第13回安積野杯U10
日程：令和7年11月8日(土)、9日(日)
会場：いわせ悠久の里
参加：4年生・3年生 計11名
帯同：佐藤コーチ、横山コーチ
結果：8位/12チーム

毎年秋に開催されています安積第三SSSさん主催の安積野杯に今年も参加させていただきました。今年は天候が心配されましたが、一時小雨が降った程度で、2日間を通してサッカー日和となりました。

保護者の方々にも大会中テントの設営などご協力いただいたり、応援、声援をいただきありがとうございました。これから4年生の大会も続いていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

良かった点

◆ディフェンスに対して積極的にドリブルで挑むことができた。

相手陣地で積極的にドリブルを仕掛けることをチャレンジしようと伝えました。これからますます判断力を養っていく年代になっていくので、はじめからパスやクリアの選択をするのではなく、ドリブルでボールを前に運ぶことができるようになってほしいと思いました。ドリブルが苦手だったり、取られることが心配と思う選手も多くいましたが、自分でボールを運んだことで、チャンスを何度も作ることができていました。得点シーンも個人でボールを持ちあがってからのプレーが多かったです。

◆相手がボールを持っているときに、最後まであきらめず追いかけることができました。

相手選手に抜かれても、スペースに運ばれても、あきらめずに追いかけていくことができました。粘り強いディフェンスとボールを奪う気持ちがとてもできていました。

◆声を掛け合ってプレーすることができた。4年生を中心に試合中声を掛け合うシーンが多く見られました。

みんなで声を掛け合ってプレーすることはとても大切です。これから仲間と助け合うプレーやコンビネーションが伴うプレーなどに声を掛け合うことは絶対に必要です。これからも力を合わせてプレーしてってもらいたと思います。また、失敗した時の励ましもおこなっていきましょう。

課題

◆ディフェンスの時に足先のプレーをしないこと

大会を通して伝えましたが、試合の後半や相手のドリブルのスピードが速い時に簡単に足をだして交わされるシーンが見られました。多くの失点の場面で見られたことです。あわてて足を出すのではなく、相手をしっかり見て奪うタイミングを見つけるようにしましょう。

◆ポジションをおぼえましょう

試合中ボールに集中しすぎることで自分とは反対のポジションに行ってしまった選手が多かったです。攻撃よりも守備の場面では自分のマークする選手をほっておいてボールに行くことがないようにしましょう。

最後に選手たちへ

大会中、様々な場面で「パスをしっかりとることができたら」「ボールを思うような方向に運べなかった」「シュートを打ったがボールに力が入らなかった」「ういたボールをコントロールできなかった」など技術的な失敗があったかと思います。失敗したことがだめではありません。4年生はボールを扱う練習を集中して行っていくことでどんどんサッカーのスキルが習得できるようになる年代です。試合で自分の思ったプレーができるように、そのような時期をのがさないで、しっかり集中して練習に取り組んでいきましょう。



